

平成22年度 第2回学校評議員会(HP)

本年度第2回学校評議員会を12月14日(火)開催いたしました。

日程 授業参観(5時限目) 14:25～
学校評議員会 15:40～17:30

- ・生徒会役員のみなさんと学校評議員の皆様の意見交換
- ・学校側からの学校評価中間報告及び保護者アンケート結果報告
- ・学校評議員の皆様からのご意見、ご助言

1 生徒会役員との意見交換

テーマ ①生徒会・りんどう祭役員としての思い ②在校生として自分の高校をどのようにみているか
③生徒の立場から地域社会・学校への願い ④その他

- (1) 須坂高校は自由と規律を校風としている。生徒会を中心として、「自由とは」、「義務・責任を伴う自由」等について、学校全体で議論をおこしていきたい。
- (2) 須坂高校生はひとりひとり個性をもっている。その潜在的なエネルギーをだせるように活発な生徒会活動としていきたい。
- (3) 現在、全校生徒から、意見要望を吸い上げるノートをしている。そうした意見を反映し、説明責任と公開しうる生徒会としたい。
- (4) 学校の登下校中に不審者が出没し、こわい思いをしている仲間が多くいるのが現状である。地域や学校へ、街灯を増やすなど、登下校の環境整備をお願いしたい。
- (5) 授業への思いや意気込みが、教師も生徒も熱心な学校である。課題が多いのも特徴と思う。課題の量を減らすということではなく、生徒一人ひとりの学習計画をたてることができるようなより有効な課題提出の仕方に検討してほしい。

学校評議員の皆様から

- (1) 4人の考えを聞いて共感し、大変感心した。しかしこの問題は須坂高校だけの問題ではなく日本全体の問題のようにも思う。大人社会でも考えていかなければならない問題である。
- (2) 生徒会の力だけでは難しい問題でもある。
- (3) 不審者対応については、学校及び地域、PTAでぜひとも何とかしてあげてほしい。
- (4) 学習課題についても、学校でも検討してほしい。

2 学校からの説明(学校評価中間報告)

- (1) 進路指導
 - ①現段階での出願状況及び保護者アンケートで出された質問に答えて
 - ②須坂高校と中学校及び大学との連携について
- (2) 生活指導
 - ①自転車の通学届提出について、徹底をはかった。
 - ②下校指導について 最終下校時間を明確にし、下校指導をしている。
- (3) 生徒会
善行賞をいただき評価をうけたことは励みになっている。3月までの計画をしているが、甘えのでない活動にしたい。
- (4) 教務 学校の良さ、特徴について、HP更新等、地域への発信については、前進した。

3 学校評議員の皆様からのご意見

- (1) 防犯協会としては、自転車の防犯登録とともに二重ロックをすすめている。
(通学届の提出の際に防犯登録を記載させている。二重ロックはこれから)
- (2) 不登校生及び悩んでいる生徒への対応について
(養護教諭及びコーディネーターが、本人、保護者、担任、スクールカウンセラーと連携して対応をしている)
- (3) 高校教育の在り方
社会全体が過保護・過干渉になっているように思われる。高校は校風・学校の方針等を明確に出してよいのではないか。
高校進学は、生徒の意志による選択で進学して学ぶということを、折りに触れ指導していくべきと考えている。